

“感性豊かな独自の天分ある魅力的演奏”

ロンドンピアノジャーナル絶賛

浦山純子ピアノリサイタル

2021年10月24日(日) 15:00開演

「リテンバウム」

千葉県習志野市鷺沼2-8-12 飯田方 お問い合わせ:norihiko.handa@e2m.mygbiz.com

参加費: ¥4000 スナック & ドリンク付 <要予約>



浦山純子(ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院に留学。1995年ラジヴィーウ国際ピアノコンクール優勝および最優秀ショパン賞(ポーランド)、98年ポリリーノ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)ほか数々受賞。96年よりロンドンを拠点とし、名門ウィグモアホールにてデビュー。ヨーロッパ各国で広く活躍し、2002年にはウラディミール・アシュケナーズ指揮フィルハーモニア管弦楽団と協演し成功を収め、再びフィルハーモニア管弦楽団に招かれ同年チチェスター音楽祭にて演奏。05年に帰国後もソロリサイタル、コンチェルトから室内楽など多彩な演奏活動を展開し、スタインウェイ・アーティストとしても全国各地でコンサート、国内外で教育・福祉関係のための慈善公演にも力を入れている。09~12年のリサイタルシリーズ「心の旅への誘い」より『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』(柏木俊夫作曲)全曲録音CDが、文化庁芸術祭に選出された。14~17年には「ショパン&ラフマニノフの世界」リサイタルシリーズを開催。18年からはリサイタルシリーズ「浦山純子with Friends」をスタート、第3回は2021年11月21日に浜離宮朝日ホールにて予定している。CDはこれまでに、ソニーミュージック/ミュージズとイギリス・シンフォニカレコードより6枚リリース。

曲目

☆ ショパン: 前奏曲 Op. 45 : スケルツォ第2番 Op. 31
: ノクターン第20番 遺作 : 舟歌 Op. 60

☆ チャイコフスキー(フレトニョフ編): くるみ割り人形

☆ スクリャービン: 練習曲 Op. 8-12 & Op. 2-1 : 幻想曲 Op. 28